

講義携帯プレーヤーで

試験もネット上で単位認定

同大が動画配信

大学の講義を動画にしてインターネットで配信、学生は都合のいい時にiPod（アイポッド）などの携帯音楽プレーヤーで再生して受講する……。そんな試

みを同志社大が始めた。出席を確認するかわりにメールでレポートを提出、試験もインターネット上で実施し、ネット上のやりとりだけで単位を認定するとい

う。同大によると、携帯音楽プレーヤーをこつした形で授業に利用するのは、全国の大学でも初めてで「学習効率上がるはず」としている。

同大が10日、発表した。

対象となる講義は、神学部「建学の精神とキリスト教」。前期全14回で、同志社の創立者・新島襄の生い立ちや教育思想、キリスト教の基礎などについて学ぶ内容。大学の教室では講義

を開かず、ポッドキャストと呼ばれる動画・音声の公開システムを使って配信する。レポートは毎回提出、試験は学期末に行い、2単位を認定する。この授業に履修登録した学生は約660人という。

授業を担当する小原克博教授（キリスト教思想）は「学生にとって学習効率上がるはず。今後、授業数を増やしたい」としている。学生以外でも「同志社大学ポッドキャスト」(<http://podcast.doshisha.ac.jp/>)から自由に聴講できる。

同志社大が正課授業

ポッドキャスト配信

同志社大学はポッドキャスト(インターネットを通じて音声や映像データをパソコンや携帯音楽プレーヤーに転送し、再生可能にする仕組み)による、単位取得が可能な

授業の配信を始めた。

「iPod」などに代表

される携帯音楽プレーヤ

ーが普及しているのに対

応、学生が学習する機会

を増やす狙い。正課授業

をポッドキャストで配信

するのは、全国で同志社大が初めてという。

配信する授業は「建学の精神とキリスト教」

(小原克博神学部教授)。

半期約660人の学生が履修登録してい

る。登録学生はeラーニングシステムを利用し、出席確認を兼ねてレポート提出などを行い、ポッドキャストを利用した受講で単位取得が可能になる。今回の「建学の精神とキリスト教」は、同志社大学ポッドキャスト(Podcast: doshish a.c.u.)から一般に利用できる。